

平成23年度第5回熊本県公立大学法人評価委員会(H23.11.8) 議事録

発言者	内 容
事務局	定足数確認及び開催宣言
会議の公開・非公開	
崎元委員長	会議次第により公開しても支障がないと思われる旨説明。 他委員の同意があり、本日の会議は公開することに決定。
議題 次期中期目標の策定について	
崎元委員長	それでは、議題の「次期中期目標の策定」について、事務局から説明をお願いします。
事務局	資料1-1 ～資料1-4 により「次期中期目標の策定」について説明。
崎元委員長	<p>前回の委員会後、委員の皆様の意見を踏まえた修正を事務局で行って、パブリックコメントが実施されました。</p> <p>そして今回、法人からの意見、そしてパブリックコメントで寄せられた意見により一部文言の変更を行った内容を御説明いただきました。</p> <p>目標の内容については、大きな変更はなく、字句の修正のみになっています。</p> <p>以上説明がございました中期目標案につきまして委員の皆様から御意見をいただきたいと思えます。</p>
佐藤委員	今回、パブリックコメントの件数は全部で何件ありましたか。
事務局	お一人の方から資料1-2の内容の御意見いただきまして、他にはありませんでした。
佐藤委員	「熊本県立農業大学校及び熊本県立技術短期大学校との連携はほとんど取られていないように感じる。」というパブリックコメント意見について、同感です。法人としては他機関との連携とそのPRを強化する必要があるのではないかと思います。
崎元委員長	<p>私も同感です。パブリックコメントでの意見やそれに対する県の回答は、法人にも十分伝わるはずですので、今後法人は意識して他機関との連携に取り組んでいただけるものと思えます。</p> <p>私は、法人への中期目標のような専門的な案件に対して、パブリックコメントの反応がそう多くないことは感覚的に分かりますが、他の案件のパブリックコメントの反応はどういう状況ですか。</p>
事務局	<p>昨年度、行政文書等の管理に関する条例の制定前にパブリックコメントを行いました。御意見はありませんでした。</p> <p>案件によって差があるようです。</p>

崎元委員長	坂本委員は、全体を通して何かございませんか。
坂本委員	設立団体と法人で、丁寧に摺り合わせて共通認識を持たれていますので、目標案の中身については特別意見ございません。今後、法人が中期目標を踏まえどのような中期計画を策定されるのかが楽しみです。
崎元委員長	一点確認です。資料1-1において、法人の意見で「地域社会の期待に応える教育研究の場を提供する」と記載した項目を、再び「学習の場」に書き替えています。これはどういう意図で書き替えたのですか。 意味合いとして「少し小さくなった」という印象がありますが、何か理由があったのでしょうか。
事務局	「学習の場」と使ったのは、受ける側から言葉を使いたいというのが理由の一つです。県民にとっては「学習を受ける」ということで、これまでもそういう意味で「学習の場」という言葉を使ってきたところです。 また、表題も「学習の拠点」という言葉を使っておりますので、それとの整合を図りました。
崎元委員長	全般的には大学そのものを指すときは「教育研究の場」という表現が適当であるように思いましたけれども、この項目においては「学習の場」が適当であるというお考えですね。 野田委員何か全般的にございませんか。「わかりやすい表現を」という御指摘をいただいておりますが、多少は改善されたでしょうか。
野田委員	一般の人にもより分かりやすい表現になり、読みやすくなったと感じています。今回の変更点については特に意見はございません。
崎元委員長	それでは、委員会の意見として、中期目標(案)を適当とする意見書を県に送付することを決定したいと思います。よろしいでしょうか。
全委員	(同意の声あり。)
崎元委員長	ありがとうございました。それではそのように決定させていただきます。 それから、私の方から委員の皆様にご協力いただければ同意をいただきたい確認と提案が一つございます。 中期目標については、議会の議決を経た後、県から法人に指示され、それを受けて法人が中期計画を策定することとなります。坂本委員からは中期計画が楽しみだという御意見もありました。 国の場合もそうなのですが、一般的に評価制度の弱点・欠点として、評価される法人としては、ともすれば、達成が容易な計画を策定して評価点を良くしようという思考に陥りがちです。 熊本県立大学におかれては、数値目標を含めて成果目標を明確にした意欲的な計画を策定いただきたい。評価が悪くなることを恐れてチャレンジングな計画を立てないということだけではないようにしてほしいと思います。 そのために、当委員会としては、目標を高めにした計画が仮に達成できな

	<p>ったとしても、その結果だけにとらわれず、努力したプロセスも含めて評価するということが望ましいのではないかと思います。</p> <p>そこで、そのような委員会のスタンスを、県が中期目標を示される際に、法人に対して、文書等でお伝えいただいたらどうかと考えます。</p> <p>委員の皆様の御意見いかがでしょうか。</p>
全委員	(同意の声あり。)
崎元委員長	<p>ありがとうございます。それでは、今申し上げたことを県から法人に目標を伝える際に、なんらかの形でお伝えいただきますようお願いいたします。</p> <p>以後の事務につきましては、事務局において進めていただきますようお願いいたします。</p>
事務局	<p>御審議誠にありがとうございました。</p> <p>今後のスケジュールにつきまして、御説明させていただきます。</p> <p>県としては委員会の御意見を踏まえ、11月県議会に、次期中期目標案を提案させていただき、議決をいただきたいと考えています。</p> <p>議会の議決をいただけたら速やかに法人に中期目標を指示する考えです。その後、法人の中期目標に基づき中期計画案を策定し、年度内に県が認可するという流れで進めさせていただきたいと考えています。</p>
事務局	(第6回評価委員会の開催についての連絡)
崎元委員長	(閉会宣言)